

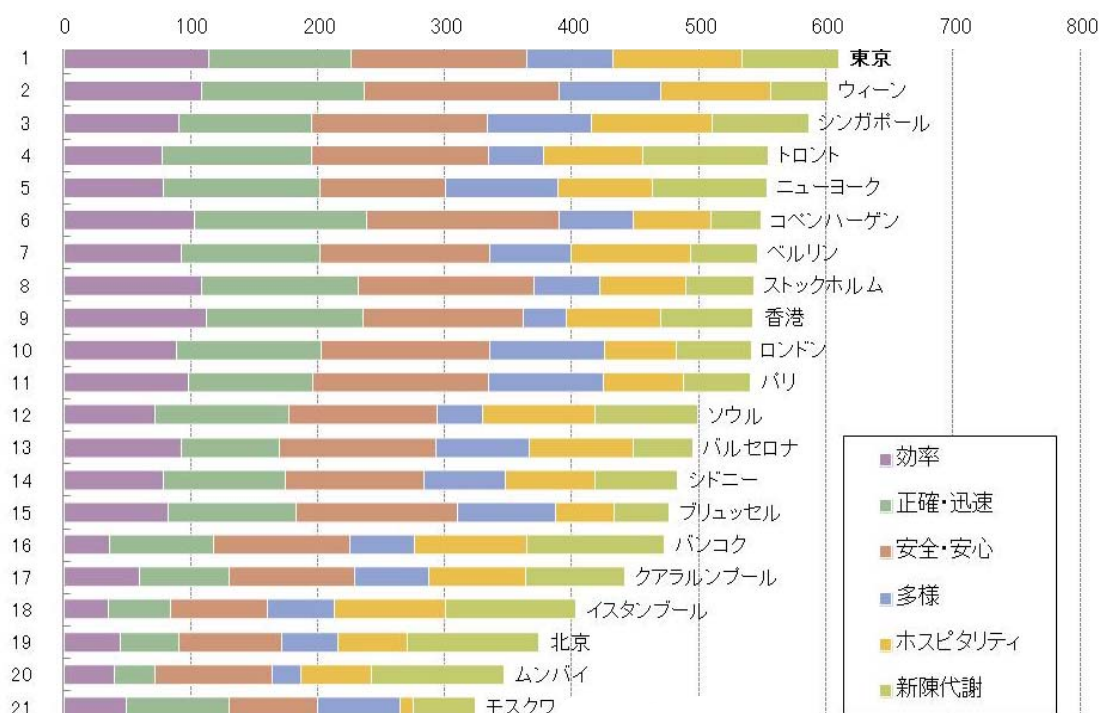
**人々が抱く感性的な価値から世界の主要 21 都市を評価
おもてなし(ホスピタリティ)を強みとする東京が 1 位を獲得！
新たな都市ランキング「アーバン・インタンジブル・バリュー」**

森記念財団 都市戦略研究所(所長:竹中平蔵)は、このたび、“都市空間が人間の感性に訴える力”を指標に、世界主要 21 都市をランク付けした新たな都市のランキング「アーバン・インタンジブル・バリュー(都市の感性価値)」を、世界で初めて取りまとめました。本ランキングでは、『ホスピタリティ』や『効率』を強みとする東京が 1 位を獲得する結果となりました。

当研究所が 2008 年より毎年発表している世界の都市総合力ランキング「Global Power City Index (GPCI)」では、経済や環境、研究・開発などあらゆる分野の総合力で都市の力を評価しています。このたび、新たに取りまとめた「アーバン・インタンジブル・バリュー(都市の感性価値)」は、快適さや安らぎ、おもてなし(ホスピタリティ)など、都市に生活する人々が抱く感性的な価値に注目し、6 つの要素(効率、正確・迅速、安全・安心、多様、ホスピタリティ、新陳代謝)を通して都市をランク付けしたものです。“都市が人間の感性に訴える力”という新たな側面から都市の魅力を評価した、今までにない都市ランキングです。

「アーバン・インタンジブル・バリュー(都市の感性価値)」総合ランキング結果

- ・GPCI-2014 で 4 位であった東京は、『ホスピタリティ』と『効率』が強みとなり 1 位を獲得した。
- ・GPCI-2014 のトップ 3 都市(ロンドン、ニューヨーク、パリ)は、『多様』が高く評価されるも、東京の強みである『効率』や『ホスピタリティ』、『安全・安心』が低評価となり、ロンドンは 10 位、ニューヨークは 5 位、パリは 11 位にとどまった。
- ・2 位には、東京とは経済規模も人口も大きく異なるウィーンがランクイン、『安全・安心』、『正確・迅速』要素で高く評価された。
- ・東京は、全ての要素別ランキングで 10 位以内にランクインしており、総合的に感性的な価値が高いことが明らかになった。一方、『多様』、『新陳代謝』の要素で課題も明らかになった。



「アーバン・インタジブル・バリュー(都市の感性価値)」要素別ランキング結果

順位	総合		効率		正確・迅速		安全・安心		多様		ホスピタリティ		新陳代謝	
1	Tokyo	609.6	Tokyo	114.5	Copenhagen	136.0	Vienna	153.4	Paris	89.8	Tokyo	101.3	Bangkok	108.1
2	Vienna	601.2	Hong Kong	112.4	Vienna	127.6	Copenhagen	151.2	London	89.7	Singapore	94.8	Beijing	104.0
3	Singapore	586.5	Stockholm	109.0	Hong Kong	123.3	Stockholm	138.9	New York	89.0	Berlin	94.1	Mumbai	103.8
4	Toronto	554.3	Vienna	108.5	New York	123.1	Tokyo	138.6	Singapore	82.4	Bangkok	88.6	Istanbul	102.7
5	New York	552.8	Copenhagen	102.7	Stockholm	122.5	Toronto	138.4	Vienna	79.7	Seoul	88.4	Toronto	99.1
6	Copenhagen	548.7	Paris	98.5	Toronto	118.1	Paris	138.3	Brussels	77.0	Istanbul	87.6	New York	89.7
7	Berlin	546.0	Berlin	92.9	London	113.8	Singapore	137.7	Barcelona	73.0	Vienna	87.3	Seoul	81.1
8	Stockholm	542.7	Barcelona	92.5	Tokyo	111.5	Berlin	133.9	Tokyo	67.6	Barcelona	81.7	Kuala Lumpur	77.1
9	Hong Kong	542.0	Singapore	90.3	Berlin	108.3	London	133.1	Moscow	64.9	Toronto	78.0	Singapore	76.3
10	London	540.6	London	88.5	Seoul	105.7	Brussels	126.7	Berlin	64.3	Kuala Lumpur	76.9	Tokyo	76.1
11	Paris	539.9	Brussels	82.3	Singapore	104.9	Hong Kong	125.6	Sydney	64.0	Hong Kong	74.9	Hong Kong	72.1
12	Seoul	499.1	New York	78.8	Brussels	100.4	Barcelona	123.0	Copenhagen	57.8	New York	74.0	Sydney	65.6
13	Barcelona	494.9	Sydney	78.2	Paris	97.7	Seoul	116.5	Kuala Lumpur	57.6	Sydney	69.8	London	58.6
14	Sydney	483.0	Toronto	77.3	Sydney	96.4	Sydney	109.0	Istanbul	52.4	Stockholm	67.3	Stockholm	53.8
15	Brussels	476.4	Seoul	71.9	Bangkok	81.6	Bangkok	107.4	Stockholm	51.3	Paris	63.0	Paris	52.7
16	Bangkok	472.7	Kuala Lumpur	59.4	Moscow	81.1	Kuala Lumpur	99.4	Bangkok	51.1	Copenhagen	61.6	Berlin	52.5
17	Kuala Lumpur	440.9	Moscow	49.1	Barcelona	77.4	New York	98.2	Beijing	43.8	London	56.9	Moscow	49.0
18	Istanbul	403.1	Beijing	44.6	Kuala Lumpur	70.5	Mumbai	92.1	Toronto	43.4	Mumbai	55.5	Barcelona	47.3
19	Beijing	373.8	Mumbai	40.4	Istanbul	49.2	Beijing	80.9	Seoul	35.4	Beijing	54.2	Vienna	44.8
20	Mumbai	345.9	Bangkok	36.0	Beijing	46.3	Istanbul	76.1	Hong Kong	33.7	Brussels	46.0	Brussels	44.0
21	Moscow	324.1	Istanbul	35.1	Mumbai	31.5	Moscow	69.6	Mumbai	22.6	Moscow	10.4	Copenhagen	39.3

ランキング結果における東京のポイント

※次頁「アーバン・インタジブル・バリュー 36 指標」参照

『ホスピタリティ』と『効率』が強みとなり総合1位を獲得

- 東京は、「住民の親切さ」「街中の清潔さ」といったおもてなしの魅力や、「サービス水準」の高さなどが高く評価され、『ホスピタリティ』の要素で1位を獲得した。
- 「地下鉄の輸送力と利便性」や「人口当たりの日刊新聞の発行部数」、「公共交通の駅密度」等の指標が高く評価され、『効率』の要素でも1位を獲得した。
- 東京はその他の要素別ランキングにおいても全て10位内にランクインしており、感性的な価値という観点から総合的に評価が高い都市であることが明らかになった。

都市空間における精神的ストレスの多さや医師不足がマイナス要因となり、『安全・安心』要素では4位

- 『安心・安全』の要素では、「人口当たり殺人件数」「公共の場における安心感」などの指標が高評価を受けるも、「精神的ストレスのない生活の実現」「人口当たりの医師数」などの指標が低く評価された。

交通の快適さは高く評価されるも、「施設利用時の待ち時間の長さ」がマイナス要因

- 東京の「国際空港の定時運航率」や「地下鉄の最少運行間隔」、「交通のスムーズさ」はいずれも高く評価されたが、「施設利用時の待ち時間の少なさ」の指標が21都市中最下位となり、『正確・迅速』の要素は9位にとどまった。

課題は、都市空間の『多様』と『新陳代謝』

- 「起業活動率」の低さや外国人居住者の少なさなどにより、『新陳代謝』や『多様』などの要素の評価は相対的に低かった。
- 本ランキングで2位のウィーンとの総合スコアの差はわずか8.4ポイントと僅差であり、東京が総合1位を維持していく為には、今回明らかになった課題を解決することが求められる。

◆「アーバン・インタンジブル・バリュー(都市の感性価値)」36 指標

要素	評価の視点	指標
効率 	都市機能・情報の集積	オフィスエリアと官庁街の近接性
		インターネット利用率
		人口当たりの日刊新聞の発行部数
	アクセシビリティ	公共交通の駅密度
		地下鉄の輸送力と利便性
街中での移動のしやすさ		
正確・迅速 	正確性	国際空港の定時運航率
		地下鉄の最小運行間隔
		施設利用時の待ち時間の少なさ
	迅速性	事業申請に要する期間
		交通のスムーズさ
		救急サービスの迅速性
安全・安心 	安全	人口当たり殺人件数
		公共の場における安心感
		大気汚染物質濃度
	安心	事故停電の発生頻度
		人口当たりの医師数
		精神的ストレスのない生活の実現
多様 	生活の多様性	買物の魅力
		娯楽・レクリエーションの多様性
		居住者の多様性
	空間の多様性	街並みの多様性
		エリアの多様性
		季節ごとの活動の多様性
ホスピタリティ 	サービス	サービス水準
		ホテルの評価
		サービスのコストパフォーマンス
	おもてなし	住民の親切さ
		タクシーの使いやすさ
		街中の清潔さ
新陳代謝 	成長	GDP 成長率
		上場企業増加率
		新設高層ビルの数
	新規性	創造的活動の形成
		創造的活動への理解
		起業活動率

森記念財団 都市戦略研究所は、今回発表した「アーバン・インタンジブル・バリュー(都市の感性価値)」の活用も含めて、世界の都市総合力ランキング「Global Power City Index(GPCI)」などの都市に関する分析を通じて、世界の都市が将来にわたって持続的に発展していくためにはどのような戦略を展開すべきかを、国際的な視点から探求していきます。

森記念財団 都市戦略研究所は、2008 年にグローバルな視点からの“都市戦略研究”に取り組むことを目的に新たに設置された研究所です。世界の都市を対象に、都市空間のみならず環境・社会・政治・経済など様々な角度から都市の現状や将来に関する調査研究を行い、成果を世界に向けて発信しています。

「アーバン・インタンジブル・バリュー(都市の感性価値)」とは

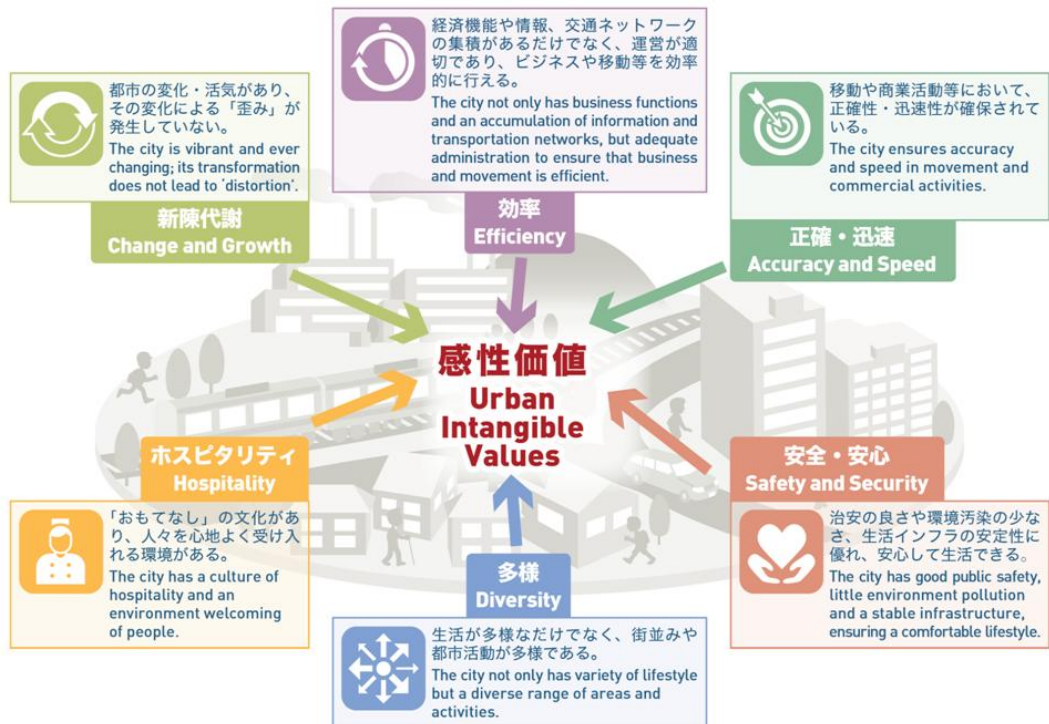
◆対象都市 選定基準

- ①GPCI-2014 で対象としている都市。
- ②1 カ国につき 1 都市を選定する。
- ③選定する都市は、首都であることを原則とする。
- ④ただし、経済活動の中心地や主要な国際機関が設置されていること等を考慮して選定する。



◆6つの構成要素

都市における生活において、私たちは、快適さ、安らぎ、興奮等を感じている。言い換えると、都市空間には「人間の感性に訴える力」が備わっているといえる。そこで、この力を「アーバン・インタンジブル・バリュー(都市の感性価値) (Urban Intangible Values, UIV)」と定義し、6 つの構成要素(効率、正確・迅速、安全・安心、多様、ホスピタリティ、新陳代謝)を設定した上で、これに対応する 36 指標を収集し評価を行っている。



【本件に関するお問合せ】

一般財団法人森記念財団都市戦略研究所 担当: 大和、浜田、佐々木
 TEL: 03-6406-6800 FAX: 03-3224-7227 Email: info@mori-m-foundation.or.jp
<http://www.mori-m-foundation.or.jp>

参考資料:

「アーバン・インタangible・バリュー(都市の感性価値)」

都市に生活する人々が抱く感性的な価値に注目し、「都市空間が人間の感性に訴える力」を評価。数年に1回発表の予定。



◆対象都市数：世界 21 都市



◆トップ 10 都市

1位 東京	6位 コペンハーゲン
2位 ウィーン	7位 ベルリン
3位 シンガポール	8位 ストックホルム
4位 トロント	9位 香港
5位 ニューヨーク	10位 ロンドン

◆6 要素/12 評価の観点/36 指標

要素	評価の視点
効率	●都市機能・情報の集積
	●アクセシビリティ
正確・迅速	●正確性
	●迅速性
安全・安心	●安全
	●安心
多様	●生活の多様性
	●空間の多様性
ホスピタリティ	●サービス
	●おもてなし
新陳代謝	●成長
	●新規性

世界の都市総合力ランキング「Global Power City Index (GPCI)」

人々や企業を世界中から惹きつける都市の「磁力」こそが都市の総合力であるとの観点に立ち、世界の主要都市の「総合力」を評価。2008年から毎年発表。



経済、研究・開発、文化・交流、居住、環境、交通・アクセス

◆対象都市数：世界 40 都市



◆2014 年 トップ 10 都市

1位 ロンドン	6位 ソウル
2位 ニューヨーク	7位 アムステルダム
3位 パリ	8位 ベルリン
4位 東京	9位 香港
5位 シンガポール	10位 ウィーン

◆6 分野/26 指標グループ/70 指標

分野	指標グループ
経済	●市場の規模
	●市場の魅力
	●経済集積
	●人的集積
	●ビジネス環境
	●法規制・リスク
研究・開発	●研究集積
	●研究環境
	●研究開発成果
文化・交流	●交流・文化発信力
	●集客資源
	●集客施設
	●受入環境
	●交流実績
居住	●就業環境
	●居住コスト
	●安全・安心
	●生活環境 ●生活利便性
環境	●エコロジー
	●汚染状況
	●自然環境
交通・アクセス	●国際交通ネットワーク
	●国際交通インフラキャパシティ
	●都市内交通サービス
	●交通利便性